※令和４年度以降入学生用

学校番号	1005

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理表現Ⅱ	2	2	・数研出版「EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Advanced」 ・数研出版「EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Advanced」ワークブック ・数研出版「EARTHRISE アースライズ総合英語」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基本文法の復習をしながら理解を深め、さらに習得した文法項目を会話で使用することで定着を図ります。
・会話に関しては、相手を意識しながら適切な応答ができること、プレゼンテーションでは、ジェスチャーや目線を意識して話せることを目標にします。
・クラスメートと協力して思考したり、会話したりすること活動を通して、学習したことを深めていってください。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・決まった表現でゆっくりはっきと話された天候、時間、物の値段など、日常生活に必要なことがらについて、内容を理解することができる。 ・趣味やクラブ活動などの身近なトピックについて、ゆっくりはっきりと話をされれば、具体的な内容を聞き取ることができる。	・２００語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読んだうえで、全体の要旨を理解し、大事な点を漏れなく理解することができる。 ・基本的な語句や表現で書かれた英文を読み、挿絵や写真、グラフなどを参考にしながら、概要を理解する事ができる	・簡単な語や表現を使って、互いの意見交換〈賛成か反対かなどの確認〉をすることができる。 ・相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて、聞き返したり、意味を確認する事ができる。	・身近な事柄について簡単な紹介、説明ができる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝える事ができる。 ・自分の気持ちや考え、起こった出来事に関する事実などを簡単な語句や文を用いて短く話す事ができる。	・自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、接続詞を使って文と文をつないで説明文などまとまりのある文章を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるアウトプットやコミュニケーションの場面に応じて、適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う状況や目的に応じて、日常的な話題、時事問題や社会問題について、外国語で情報や考えを理解し、また相手に伝える事ができる。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手を尊重し、配慮と思いやりを忘れず、自分の発信する情報に責任を持ちながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
１学期	**Part　1** **Lesson 1** Have you ever experienced any cultural differences? **Lesson 2** Where do you usually buy things?	聞くこと	a: 英語の音声の基本的な特徴を理解している。 b: 日本の文化や習慣について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日本の文化や慣習について、必要なもの情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: さまざまな主語の形(主語が動名詞の場合や It is ～ to do…)の用法・意味を理解している。 さまざまな動詞の形(現在完了形、助動詞、現在完了進行形、過去完了進行形)の用法・意味を理解している。 b: 日本の文化や慣習について書かれた英語の文章を読んで概要を捉えている。 c: 日本の文化や慣習について書かれた英語の文章を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: さまざまな主語の形を意識し，日本の文化や習慣についてクラスメートと伝え合い，その内容について発表する技能を身に付けている。 b: 日本の文化や習慣について，クラスメートに伝えたり，相手からの質問に答えたりしている。また，その内容について整理し，聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 c: 日本の文化や習慣について，クラスメートに伝えたり，相手からの質問に答えたりしようとしている。また，その内容について整理し，聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: さまざまな主語の形(主語が動名詞の場合や It is ～ to do…)の用法・意味を理解している。 さまざまな動詞の形(現在完了形、助動詞、現在完了進行形、過去完了進行形)の用法・意味を理解している。 b: 外国の文化や習慣について，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 c: 外国の文化や習慣について，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝えようとしている。	定期考査 （ライティング）
		発表	a.本文のダイアログを覚え、正しくペアで再現することができる。 b. 内容がよく伝わるような速さ、声量を使い分けている。 c. しっかり内容を覚えて、場面を再現するように発表している。	
	中間考査			
	Part　1 **Lesson 3** International events and cultural exchange **Lesson 4** How have you been lately?	聞くこと	a: 英語の音声の基本的な特徴を理解している。 b: 日常的な話題（「学校の活動」や「自分が選んだ写真」）について、視覚情報を参考にしながら、理解している。 c: 日常的な話題（「学校の活動」や「自分が選んだ写真」）について、視覚情報を参考にしながら、理解しようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 名詞のはたらきをする表現（to 不定詞や接続詞 that, whether 動名詞，関係代名詞 what）など）の用法・意味を理解している。 形容詞のはたらきをする表現（分詞，関係代名詞，不定詞,同格の of）の用法・意味を理解している。 b: 日常的な話題（「学校の活動」や「自分が選んだ写真」）に関する資料を見ながら、相手の意図を理解している。 c: 日常的な話題（「学校の活動」や「自分が選んだ写真」）に関する資料を見ながら、相手の意図を理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: 名詞･形容詞のはたらきをする表現を用いて，その内容について発表する技能を身に付けている。	スピーキング テスト

※令和４年度以降入学生用

	Lesson 5 How do you watch movies and things?		b: 日常的な話題（「学校の活動」や「自分が選んだ写真」）について、基本的な語句や文を用いて話している。 c: 日常的な話題（「学校の活動」や「自分が選んだ写真」）について、基本的な語句や文を用いて話そうとしている。	
		書くこと	a: 名詞のはたらきをする表現（to 不定詞や接続詞 that, whether 動名詞，関係代名詞 what）など）の用法・意味を理解している。 形容詞のはたらきをする表現（分詞，関係代名詞，不定詞,同格の of）の用法・意味を理解している。 b: 日常的な話題（「学校の活動」や「自分が選んだ写真」）について、基本的な語句や文を用いて書いている。 c: 日常的な話題（「学校の活動」や「自分が選んだ写真」）について、基本的な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
2 学期	**Part　2** **Lesson 1** Making life better **Lesson 2** Good eating habits **Lesson 3** Visiting a new place	聞くこと	a: 感情を表す表現が用いられた会話を聞き取る技能を身に付けている。 b: 「社会・生活」「食習慣」「旅行」をテーマについて、視覚情報も参考にしながら理解している。 c: 「社会・生活」「食習慣」「旅行」をテーマについて、視覚情報も参考にしながら理解しようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 感情を表す表現を用いて，状況に応じた会話のロールプレイをする技能を身に付けている。 「助言する・忠告する」「必要・義務を表す」「勧誘する・提案する」表現の用法・意味を理解している。 b: 「社会・生活」「食習慣」「旅行」をテーマについて、論理の構成や展開を意識しながら理解している。 c: 「社会・生活」「食習慣」「旅行」をテーマについて、論理の構成や展開を意識しながら理解している。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: 感情を表す表現を用いて，状況に応じた会話のロールプレイをする技能を身に付けている。 「助言する・忠告する」「必要・義務を表す」「勧誘する・提案する」表現の用法・意味を理解している。 b: 相手によく理解してもらえるように，状況や場面に応じて，情報や自分の考えを整理し，ロールプレイをしている。 c: 相手によく理解してもらえるように，状況や場面に応じて，情報や自分の考えを整理し，ロールプレイをしようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 感情を表す表現、「助言する・忠告する」「必要・義務を表す」「勧誘する・提案する」表現の用法・意味を理解している。 b: 読み手によく理解してもらえるように、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 c: 読み手によく理解してもらえるように、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えようとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	PART　2 **Lesson 4** Where would you like to live in the future? **Lesson 5** Which candidate is the right person? **Part 3** **Lesson 1** Advertising a language school	聞くこと	a: 「意見を述べる」，「希望を述べる」「賛成する・反対する」表現が用いられた会話を聞き取る技能を身に付けている。 b: 「暮らす場所」「選挙」をテーマに，賛成・反対の立場の意見をセリして理解することができる。 c: 「暮らす場所」「選挙」をテーマに，賛成・反対の立場の意見をセリして理しようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 「賛成する・反対する」「意見を述べる」表現の用法・意味を理解している。 b: 「暮らす場所」「選挙」をテーマに，賛成・反対の立場の意見をセリして理解することができる。 c: 「暮らす場所」「選挙」をテーマに，賛成・反対の立場の意見をセリして理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: 「賛成する・反対する」「意見を述べる」表現の用法・意味を理解している。 b: 「暮らす場所」「生徒会選挙に立候補する理由」について，聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 c: 「暮らす場所」「生徒会選挙に立候補する理由」について，聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 「賛成する・反対する」「意見を述べる」表現の用法・意味を理解している。 b: 賛成する・反対する」表現を用いて，外国に住むことについての自分の意見を書く技能を身に付けている。	定期考査 （ライティング）

※令和４年度以降入学生用

			c: 賛成する・反対する」表現を用いて，外国に住むことについての自分の意見を書こうとしている。	
	期末考査			
３学期	**Lesson 2** Inventions and discoveries	聞くこと	a:「発明・発見」「スマートフォンの使い方」「宿泊先の条件」「勉強の仕方」について話された内容を捉える技能を身につけている。 b: 「発明・発見」「スマートフォンの使い方」「宿泊先の条件」「勉強の仕方」について話された内容を聞き、視覚情報と併せて必要な情報、概要、要点を捉えている。 c: 「発明・発見」「スマートフォンの使い方」「宿泊先の条件」「勉強の仕方」について話された内容を聞き、視覚情報と併せて必要な情報、概要、要点を捉えようとしている。	定期考査 （リスニング）
	Lesson 3 How people use their smartphones	読むこと	a:〈例示・列挙・比較・対照・原因・結果〉のパラグラフ展開を理解している。 b: 〈例示・列挙・比較・対照・原因・結果〉の指示文と、パラグラフの展開を意識して，必要な情報、概要、要点を捉えている。 c: 〈例示・列挙・比較・対照・原因・結果〉の指示文と、パラグラフの展開を意識して，必要な情報、概要、要点を捉えてようとしている。	定期考査 （リーディング）
	Lesson 4 Our accommodation in Okinawa	話すこと	a: バラグラフの展開パターンを理解しており、それぞれの話題に必要な背景知識・語彙・表現を身に着けている。 b: バラグラフの展開パターンの知識、それぞれの話題に必要な背景知識・語彙・表現を活用しながら、聞き手によく理解してもらえるように工夫して話している。 c: バラグラフの展開パターンの知識、それぞれの話題に必要な背景知識・語彙・表現を活用しながら、聞き手によく理解してもらえるように工夫して話そうとしている。	スピーキング テスト
	Lesson 5 Getting ready for high school exams	書くこと	a: バラグラフの展開パターンを理解しており、それぞれの話題に必要な背景知識・語彙・表現を身に着けている。 b: バラグラフの展開パターンの知識、それぞれの話題に必要な背景知識・語彙・表現を活用しながら、聞き手によく理解してもらえるように工夫して書いている。 c: バラグラフの展開パターンの知識、それぞれの話題に必要な背景知識・語彙・表現を活用しながら、聞き手によく理解してもらえるように工夫して書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
		やり取り	a. 本文の内容について、追加の質問をしたり、答えることができる。 b. 正しい発音、アクセントで Q&A を複数回することができる。 c. 相手の質問を理解しようとし、答え方も伝わりやすいように工夫している、	
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度